

住民型有償サービス「小楠さんくすサービス」

手作りマスクで子ども達に快適・機能性を!!

7月2日(木)、「小楠さんくすサービス」から、小楠小学校へ手作りマスクを贈りました。

きっかけは、週1回、さんくすの女性スタッフが自由参加している集まりで「暑い中マスクを着用しないといけない子ども達に少しでも楽なマスクをあげたい!!」と思ったことがきっかけとなり、代表の田中さんや他のスタッフに相談したところ、全員一致で製作することが決定。さんくすのメンバーとそれに賛同した小楠校区の方も参加し、縫製のお手伝いをして下さり、10日間で高学年250枚、低学年250枚の計500枚ができました。



熊谷彩花さん

マスクが足りなかったので貰った時はすごく嬉しかったです。今は自分で洗って繰り返し使ってます。



小楠小学校長先生



代表:田中さん

マスク製作中

着けていても息苦しくなくて、涼しいです。



田中大智さん

お礼の手紙



ボラ情報・お知らせ

収集ボランティア 報告 ＜使用済み切手＞

情報紙「ペンぎん」No.242号に載せると地域の方やつくし園の方々から使用済み切手

15,030枚 の

寄付を頂きました。ご協力ありがとうございます。頂いた切手は県の盲人協会に贈らせて頂きます。



ありがとうございます。

つくし園の方々のボランティア活動の様子

編集後記 無意識

普段、あまりテレビを見ない私も最近では家で過ごす時間が多くなりテレビを見る時間が増えた。とある日、ソファにパンツ一丁で寝転がっているとテレビから「音楽の力はすごい!!」という言葉が耳に入ってきた。内容は、自分の生まれた場所も名前も忘れてしまっているおばあちゃん。歌詞カードを見ても「こんな歌しらんわ」と言っていたけれど、音楽が流れると記憶が蘇ってきたのか、無意識に手拍子をしながら歌えるという内容だった。

私も経験したことがある。福岡の民謡「炭坑節」。歌詞カードだけだと思いつけないが、音楽があれば踊れることを思いなぜか一人納得してしまった。みなさんはこんな経験ないですか？

ボランティアコーディネーター みやた しょうた

中津市障がい児・者余暇活動支援事業



てくてくまつり

開催予定

日時：令和2年11月22日(日)
10時～12時

場所：中津市教育福祉センター
対象者：障がいのある方、その家族

詳細については、11月号情報紙「ペンぎん」に掲載予定です。ホームページ等にも掲載します。なお、**事前申込が必要**となりますのでご注意ください。



申込・お問合せ先

中津市社会福祉協議会 地域福祉課

TEL:23-2095 FAX:24-7682

担当:木内(きのうち)・宮田

お知らせ!!

中津市ボランティア・市民活動センター内に設置しています印刷機が新しくなりました。

紙原稿からの印刷は可能ですが、データからの印刷の場合は、事前にご相談下さい。



ボランティア・市民活動情報紙

ペンぎん



No.244

2020年9月発行

え:よしだ みずほ

＜発行＞ 中津市ボランティア・市民活動センター（中津市教育福祉センター内）

〒871-0021 中津市沖代町1-1-11 TEL 23-2095 FAX 24-7682

＜ホームページ＞ <http://www.nakatsu-s.or.jp/> E-MAIL volunteer@nakatsu-s.or.jp

吉野草グループ

～「公園は公園らしく!」～

「吉野草グループ」は山国地区にて平成十二年に発足し、山国川沿いにある吉野農村公園の草刈りを中心とした活動やゴミ、空き缶拾いなどの清掃活動を行っています。

代表の藤原さんにお話を伺うと「公園にゴミがあるとゴミの連鎖でまたゴミが捨てられてしまう。だから、私たちが公園を綺麗にすることで、公園を利用する人たちが気持ち良く過ごして頂ける」と活動の思いを話されていました。

「吉野草グループ」は、草刈りだけでなく、毎年、山国川の兩岸を渡す約150匹の鯉のぼりを上げる活動もしています。ですが、「今年は新型コロナウイルスの影響により、上げることが出来なかった」と残念そうに皆さん言われていましたが、「来年は絶対に上げたい」と力強い言葉も頂き、来年が今から楽しみです。



代表 藤原 映明さん

今年はコロナの影響で皆さんなかなか集まることが出来ず、むず痒い時期を過ごされていましたが、やっと草刈りができ、雑草が生い茂っていた公園も草刈り後まるで芝生のように綺麗な姿になりました。そこに腰を下ろして休憩したり、みんなで写真を撮ったり、綺麗になった公園に喜びの笑顔が浮かんでいました。



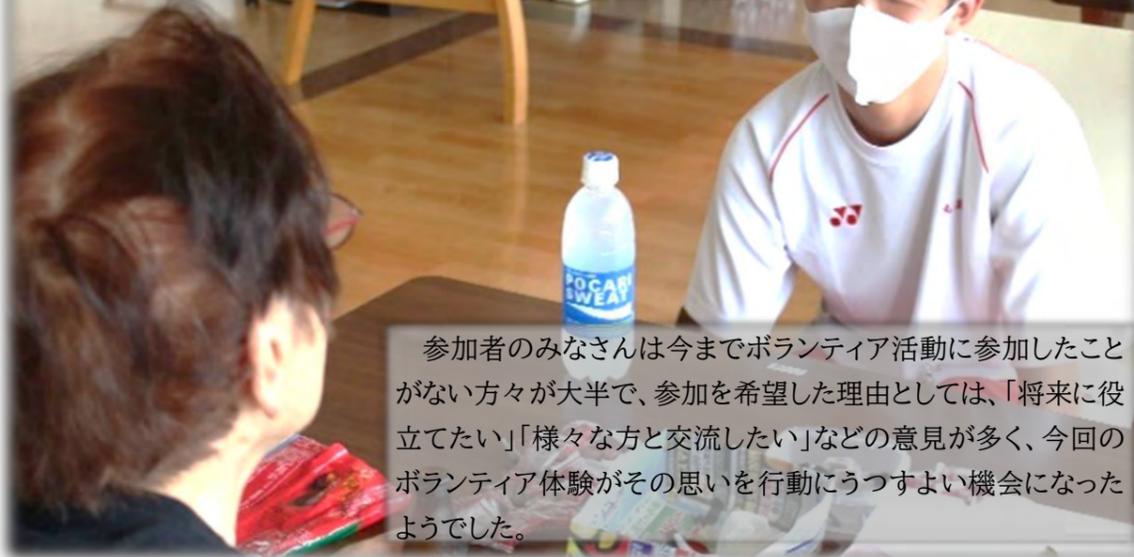
中津ボランティアカメラマンの会(NAVCA)メンバーの林さんが撮影した写真を使わせて頂きました。



夏のボランティア体験月間 & Summerてくてく

わたしの夏ぼら 

今年も、中津市内の福祉施設やボランティア団体の協力のもと、「夏のボランティア体験月間」を実施し、小・中・高・大学生を中心に 253 名が参加体験しました。



参加者のみなさんは今までボランティア活動に参加したことがない方々が大半で、参加を希望した理由としては、「将来に役立てたい」「様々な方と交流したい」などの意見が多く、今回のボランティア体験がその思いを行動にうつすよい機会になったようでした。

参加への意気込み

- ・私の将来に向けてたくさんの事を学びたい!!
- ・自分にとっての新しい発見や考え方の視野を広げたい!!
- ・ボランティア活動を通して、成長したい!!
- ・これからやりたい事を見つけるきっかけにしたい!!
- ・高齢の方々と多く関わってみたい!!
- ・普段できないことを経験し、勉強したい!!
- ・少しでも人助けや笑顔にしたい!!

などがありました。



地域サロン「すずめの家」
みんなで歌う歌詞カード作成

夏ぼら 2020 ふれあうことで何かを感じた!?



にしき児童クラブ
ブロック遊び



地域サロン「福ろうの家」
高齢者の方から中津の歴史を学ぶ



豊寿園
高齢者施設と一緒に棒体操



サマーてくてく
折り紙で風車づくり



地域サロン「すずめの家」
昼食を配膳の様子



地域サロン「福ろうの家」
お茶の時間のコーヒーを配る



なかつプレーパーク
子ども達と全力で遊び



東九州短期大学 1年生

今回、私は「すずめの家」という地域型ボランティアに参加させていただきました。そこでは、利用者さんとお話をしたり、ボランティアスタッフさんと一緒にご飯を作ったりしながら、地域の方と協力することの大切さを学ばせていただきました。また機会があれば、遊びに行きたいです。



サマーてくてく
干潟の生き物観察



八千代保育園
園内のお祭りの手伝い



地域サロン「すずめの家」
料理の盛り付けの手伝い



如水こども園
おもちゃと一緒に遊ぶ



今回のボランティア活動を通して、学校とは違う「出会い」や「学び」などを実際に感じる事ができたようです。

今年の夏の「感じた」、を新たなボランティア活動へのステップにつなげて欲しいと思います。